

委員	ご意見概要	ご意見に対する市の考え	素案ページ	行	素案文書 修正案
高橋委員	昨今の資材や肥料高騰の現状など、農業における課題がグローバル化し、非常に農業をやりにくくなった。消費者の（農業への）理解大切。また農業コスト低減にはほ場整備、機械化が効果的。農業が置かれる環境は時代によっても変わっていくので、柔軟対応すべき。変化、修正も必要だと思う。	時代の変化に即した柔軟な対応として、農業構想の位置づけを示すページに「中間見直し」を明記し、適宜対応することとしています。	-	-	新潟市農業構想について～計画期間開始後3年を目途に、社会経済状況の変化をふまえて本構想の中間見直しを行います。
吉川委員	「農地の集積・集約化」は市の部署だけで分析は難儀。（集積・集約化だけでなく全体に対し）産学官連携という言葉をもう少し散りばめてもいいのではないかと。また毎年の評価においても、こういった施策がきちっと効果をもたらしているのかの分析を産学官も含めて検討しながら進めていくといった文言が少し入っていてもよいのではないかと。	個別には施策4、9、16において産学官連携を含めた取組みがありますが、委員ご指摘のとおり、特定の施策の推進のみならず、農業構想全体を通じ、産学官など外部の様々な主体との連携により課題解決を図ることが今後はより重要であることから、第7章推進体制（P73～）の「市の役割（P75.16行目）」「推進体制（P76.図）」に多様な主体との連携として包括的に記載しました。	-	-	左記のとおり
大野委員	基本方針等が「農林水産業」となっている。違和感。	ご指摘のとおり、農業・農村・食料に関する計画のため「農業」に変更しました。	-	-	「農林水産業」を「農業」に修正
吉川委員	（P.41 施策1関係） ほ場整備の推進について。基本的に県営のほ場整備に頼らざるを得ない中、ほ場整備を進めるために市は具体的にどのような取り組みをするのかが見えてこない（施策から読み切れない。）	ほ場整備の推進にあたっては、莫大な整備費の確保が最大の課題です。農地中間管理機構関連農地整備事業による基盤整備は、県負担が従来よりも少なく、また農業者の申請・同意・費用負担を求める必要がないことから有効なものと考えており、第3期農業構想では（P.41）施策1「①農地の大区画化・水田の汎用化の推進」において「（前略）農業者をはじめ農地中間管理機構等とも連携し、農地の大区画化や水田の汎用化を推進」と整理しています。国県への安定的かつ持続的な予算の確保を要望しつつ、地域の実情に応じた小規模な改良事業などの支援も進め、優良農地の整備の推進を図ります。	41		（P.41）施策1「①農地の大区画化・水田の汎用化の推進」（前略）農業者をはじめ農地中間管理機構等とも連携し、農地の大区画化や水田の汎用化を推進（略）
吉川委員	（P.41 施策1関係） 土地改良区などが独自で行うほ場整備に対し、それらをサポートするような施策みたいなのが具体的に入ってくると、よりわかりやすい（あまり細かいところに入っては如何かという発言もあり）				
藤原委員	（P.45 施策5等） 少子高齢化、人口減少の中で、外国人への人材育成、住まいを提供して勉強させるとか、農業体験・技術習得の機会を与え後継者育成につなげるといったことは考えられないものか。	ご意見のとおり、今後人口減少が加速する中、労働力確保の観点から多様な人材が農業に参加していくことが必要です。記載は右の通りとしますが、今後の施策実行の中で対応していきます。	45	8	（P.45）施策5 新規就農者・農業を担う者等の確保・育成 ①幅広い多様な人材の確保と企業参入の推進（3点目）・都市住民や定年退職者などの多様な人材が農業に参加する機会の確保・拡大を図ります。
青山委員	（P.45 施策5③） 施策5③「次世代への担い手への経営継承・発展」について。第三者継承の既設相談窓口があるということなので、既にある機関、機能している機関を、少し具体的に入れながらそこを強化するというふうにしていただいた方が、見る側にとってはわかりやすい。	第3回部会のご意見を踏まえ、機関名を追記し、具体的な表記に修正しました。	45	27	施策5③「（前略）相談窓口紹介などにより」を「（前略）相談窓口として新潟県担い手支援センターなどを紹介することにより」に修正
堀委員	（P.46 施策6①） 意欲ある若手農業者のネットワーク構築について、同じ世代だけでももちろん重要だが、上の世代の方と交流があるとよい。	第3回部会の意見を踏まえ修正しました。	46	7	施策6①「次世代を担う若手農業者同士が～営農し続けるための支援を行います。」を「若者同士や世代間の交流を通じて、次世代を担う若手農業者が、幅広い視野に立ち営農し続けられるよう、支援します。」に修正
青山委員	（P.48・49 施策8・9） 米施策について、市は米生産でいくのか園芸転換、その他の作物で行くのかどちらに行くのか（行きたいのか）読み切れない。少し軸を決める必要があるのではないかと。（ご意見として） 施策9「米に偏重した生産体制」などの表現について、統一性を持った形で書いた方がよい。	施策9①について、園芸生産の導入と拡大を進めつつも、米については本市の主要作物であることを考慮し、米からの脱却に関する強い表現を削除しました。	49	3	施策9①の文書から「米に偏重した生産体制からの脱却に向け、」を削除
神林委員	（P.49 施策9①） 「園芸生産の導入拡大」について。園芸の中でも果樹の減少が非常に甚だしい状況。もう少しその点を書き込んだ方がよい。 果樹は苗木を植えてから収穫するまで長い時間がかかることから、ソフト的な支援が必要。	第3回部会のご意見を踏まえ修正しました。	49	10	施策9①「・果樹産地の形成には期間を要することから、既存産地の維持・拡大に向け、品種や品目の更新を推進するとともに、次世代を担う人材の確保を進めます。」を追記

委員	ご意見概要	ご意見に対する市の考え	素案ページ	行	素案文書 修正案
神林委員	(P.49 施策9、P.52 施策12) 施策12「官民連携による販売促進体制の確立」にあるマッチングアプリは園芸生産の労働力確保の項目（施策9②）の方がよいのではないか。	第3回部会の意見を踏まえ、施策9②「労働力の確保と作業省力化の推進」にマッチングアプリについて具体的に記載しました。また施策12にも再掲的な位置づけとなりますが引き続き記載しています。	49	20	施策9②「・労働力の確保に向け、デジタル技術等を活用した農業者と働き手とのマッチングを進める」を「・マッチングアプリなどデジタル技術等を活用し、農業者の労働力の確保を進める」に修正。
青山委員	(P.49 施策9) 施策9③「需要に即した品目・品種への取り組み」について。突然薬用作物が出てきた感。薬用作物の栽培は難しいと聞いている。小麦や米粉専用品種など新しい品目のニーズが高まっているので、マーケティングを含めつつそういったものの開発など幅広い書き方をした方が広がりを持つのではないかと。	第3回部会のご意見を踏まえ、施策9③について全体を整理し、修正しました。	49	24	施策9③「薬用作物など新規品目の産地化に向けた種子保存及び栽培技術の蓄積を行います。」を「・将来の農業を取り巻く社会や経済環境の変化を捉え、新たな品目、品種の導入など、産学官連携による研究に取り組みます。」に修正
神林委員	(P.51 施策11) 「脱炭素・環境負荷の低減の促進」について、水田から発生するメタンガスの抑制への取組として秋うちなどの記載も追記してはどうか。	第3回部会のご意見を踏まえ修正しました。	51	15	施策11②「・（前略）、水田での秋耕や中干しの期間延長などを推進し、土壌への炭素貯留や地球温暖化防止の取組を進めます。」を追記
石山委員	(P.54 施策14) 農商工連携に関して、現場で困っているのが「情報がない」ということ。そのあたりに対応ができないか。	ご意見の趣旨をふまえ「情報提供」を追記しました。すべての情報の集約及び提供は困難ですが「適切な専門家に繋げる・紹介する」という情報提供の方法もあることから、相談・支援の一貫として対応します。 今後も新潟市産業振興財団（IPC財団）などの関係団体と情報交換に努めつつ、相談対応を進めます。	54	8	施策14①「・（前略）新潟市産業振興財団（IPC財団）と連携して、加工技術から販売戦略に至るまでの各種相談・支援を行います。」を「・（前略）新潟市産業振興財団（IPC財団）と連携して、加工技術から販売戦略に至るまでの情報提供や各種相談・支援を行います。」に修正。
石山委員	(P.58 施策18②) 学校給食について、次世代育成の観点からも地場農産物を積極的に取り入れることに何等かの形で関わったほうが良いのではないかと。	(P.58) 施策18「②学校給食における地場産物の活用」において学校給食への地場産物の活用や食育の推進を整理しています。 今後も教育委員会と協議を重ねながら進めていきます。	58	12	左記のとおり
荒木委員	(P.58 施策18②) 学校へ生産者として大豆を納めた時の経験だが「地元大豆で非常に品質も良い」と評価を受けていても、いざ納品の段階は「入札方式」で安いところに落札される。建前とルールとのバランスがどうなのか。地元産を支援するような姿勢（取り組み）があってもよいのではないかと。				
青山委員	(施策に関して) みどりの食料システム戦略では、環境に配慮した農産物の消費先が課題。学校給食に環境保全のお米を取り入れるなど環境配慮型農産物の「出口」を作る取り組みなど考えてほしい。				